



2023年12月25日

OB・OGも参加！今年で31年目となる「クリスマス・チャリティ」を実施
西アフリカの難民キャンプに衣類など8,831点を寄贈

物品輸送のための募金も実施、約173万円を寄付

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-6、社長：石戸谷 浩徳）では、11月13日（月）から12月8日（金）までの間、西アフリカの難民支援を目的とした「クリスマス・チャリティ」を実施しました。



「クリスマス・チャリティ」は、毎年クリスマスの時期に、社員の各家庭で不用になった衣類や薬、文房具、おもちゃなどの物品を持ち寄り、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」（本部：東京都品川区南品川5-16-14、村上代表）を通じて、西アフリカの難民キャンプに寄贈する活動です。

1993年に開始して以来、31年目を迎えるこの活動は、今年も多くの社員の賛同と協力を得て、また、共栄火災のOB・OG約1,000名が所属する「共栄旧友会」も加わって、全国から多数の物品が寄せられました。



（衣類を持ち寄る社員たち）



集まった物品の総数は8,831点、段ボール276箱分となり、12月26日（火）にマザーランド・アカデミー・インターナショナルに届けられます。

「クリスマス・チャリティ」では、集まった物品を日本から西アフリカに輸送するための募金も実施し、役員・社員や関連会社社員、

会社からのマッチング・ギフト、共栄旧友会からの募金を加え、募金総額は1,725,298円となりました。



なお、今年の結果を含めた過去31年間の累計では、物品約28万点、物品輸送のための募金も約2,840万円となりました。



当社は、この「クリスマス・チャリティ」の活動を、同じく西アフリカの難民支援を目的として毎年2月に実施する「義理チョコ・あげたつもり・もらったつもり」バレンタイン・チャリティ募金」とともに、国際貢献活動の2本柱として継続してまいります。

「義理チョコ・あげたつもり・もらったつもり」バレンタイン・チャリティ募金

職場で、なかば儀礼的となっていたバレンタインデーの義理チョコとホワイトデーのお返しを、もっと有意義な目的に使えないかと女性社員有志が発起し、1993年から全社員を対象に「義理チョコ・あげたつもり・もらったつもり」バレンタイン・チャリティ募金」を実施しています。これは、毎年2月に、義理チョコをあげたつもりで、また、ホワイトデーにお返ししたつもりで1口500円をチャリティとして募金する活動です。

集まった募金は、「クリスマス・チャリティ」と同様、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」を通じて西アフリカの難民キャンプを支援するために活用されています。

■ マザーランド・アカデミー・インターナショナルについて

「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」は、命の等しさ尊さを子供たちに伝える過程が「教育」そのものだと考えた母親たちが、家でも学校でも地球上のどこにいても、当たり前に行動に移せる子供を育てることを目指して「命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会」として1982年に活動を開始しました。世界で最も支援が必要であると国連が指定している国々や地域へ確かな支援ルートを持っており、年間約10便（船便）で物資を送っています。

マザーランド・アカデミー・インターナショナル

<命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会>

代表：村上章子 氏

【本部事務局】〒140-0004 東京都品川区南品川5-16-14

TEL：03-3450-5829（平日21:00～22:00）/FAX：03-5461-8929（24時間受付）

以上